

NST回診(NST:栄養サポートチームの略称)

栄養状態が
良くないと、
治療効果も
あがりにくいです。
患者さんの状態にあった
栄養管理は、予後(※)
の改善に役立ちますが、
患者さんの状態にあっ
ていない場合は、予後に影
響を与えることがあります。

栄養管理は
すべての治療の
基盤です。



当院では
医師、歯科医師、
看護師、薬剤師、
管理栄養士、言語聴覚士
臨床検査技師などで構成
するチームが、主治医と
協力して活動しています。
特に栄養改善が必要とさ
れる患者さんには、週に
1回、回診をしています。

※『予後』とは

今後の病状についての医学的な見通しのことです。病気の進行具合、治療の効果、生存できる確率など、すべてを含めた見通しです。

これから病気が良くなる可能性が高いか、悪くなる可能性が高いかの見通しを指す場合もあります。

栄養状態の評価に必要なもののその1

身体計測

✿ 身長

1日に必要なカロリーを計算するために用います。

✿ 体重

増えたか減ったかの変化と、やせているか太っているかで栄養状態をみます。

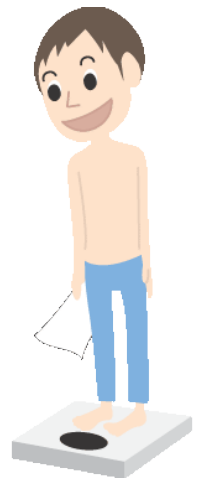
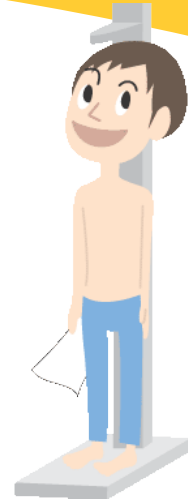
✿ 標準体重

身長から割り出します。求め方は＝身長（m）×身長（m）×22
155cmの場合 $1.55 \times 1.55 \times 22 = 52.85 \div 52.9\text{kg}$ です。

✿ BMI

身長と体重から計算します。標準体重がBMI＝22

18以下は、るいそうといい『やせ過ぎ』 25以上は、『肥満』と判断します。



栄養状態の評価に必要なものその2

血液検査



- アルブミン (Alb : I-ILビ -)
⇒ 栄養状態や、肝臓、腎臓などの疾患の目じるし
- リンパ球数 (TLC : ティルト -)
⇒ 免疫力の目じるし
- ヘモグロビン (Hb : ハーバ -)
⇒ 栄養状態、貧血の目じるし
- 中性脂肪 (TG : ティーヅ -)
⇒ 血液の中の脂肪の代謝の目じるし
- トランスサイレチン (=プレアルブミン)
⇒ 1～2日の短期間の栄養状態の目じるし

栄養状態の改善のために…

栄養管理をする栄養ルート（経口・経管・点滴など、栄養補給の方法）を確認し、必要な栄養をどのように補っていくのがよいかを話し合います。

病状に合った点滴、食べ物、栄養剤を場合によっては、複数組み合わせるプランを立て、無理なく患者さんにあった栄養管理が提供できるようチームで協力しています。



褥瘡回診(じょくそうかいしん)

床ずれ＝褥瘡

(じょくそう)

★褥瘡とは

医療用語では、床ずれのことを『褥瘡』(じょくそう)といいます。
からだの重みが集中する場所や骨の出っばった部分は、床ずれができやすく、悪化すると化膿してしまうこともあります。



★こんなことがあったら 要注意！

- 寝ている時間が長い
- 食が細くなった
- 自分で姿勢が保てない
- 皮膚に赤みや黒ずみが見られる
- 日常的におむつを使っている

床ずれ予防で大切なこと

床ずれの予防・早期発見には

- ◆ 全身の皮膚の状態を、よく観察することが大切です。
- ◆ 入浴や着替えの時などに、皮膚をよく観察しましょう。

床ずれの原因を取り除くケア

- ◆ 圧迫・ずれを取り除く
体の同じ部位に長時間、体圧がかからないように気をつけましょう。
- ◆ 皮膚の汚れを取り除く
入浴等での洗浄と、洗浄後の保湿・も忘れないようにしましょう。
- ◆ 栄養不足を取り除く
栄養不足にならないように、バランスよく食べましょう。

床ずれの見分ける方法

1. 赤くなった部位が、圧迫されない姿勢にする。
2. 約30分後に、赤みが消えているかどうかを観察する。
3. 赤みが残っていれば『床ずれ』の可能性ががあります。

床ずれの可能性がある場合、
すぐに医師または看護師に
相談しましょう♪



褥瘡チームでは…

- ◆ 各医療スタッフが、専門的知識や技術を出し合い、最善の方法で褥瘡対策：治療や予防ケアを行っています。



必要に応じて、担当ケアマネジャーや訪問看護師、MSWも加わります。

